

宮崎県拠点だより

宮崎県拠点の
Webサイトは
こちらから▼



事例紹介
#24

持続可能な農業に向かって!!

新たな特産品へ 国産生ライチ!!

有限会社 森緑園では、約20年前から国産ライチの研究・栽培に取り組んできました。国内で流通する国産ライチはごくわずか（2%未満（生産量/輸入量））で、輸入の冷凍物では味わえない、みずみずしく上品な甘みと香りを持つ生ライチを多くの人に伝えたいと、様々な栽培の課題を乗り越えブランド化に挑んでいます。



有限会社 森緑園の代表取締役 森 哲也さん

代表取締役の森哲也さんは、父親が洋ラン生産の傍らに研究・栽培していたライチのおいしさを多くの人に伝えたい、そして、新富町の新たなふるさと納税返礼品として地域を盛り上げたいとの思いから、30歳でライチの生産を引継ぎました。ライチの栽培は難しく、まとまって収穫できるようになるまでに約10年かかりました。

森さんが会長を務める宮崎県内の「ライチ研究会」は、新富町や綾町、宮崎市などの23戸が所属し、会員の栽培管理技術や生産意欲向上等に取り組み、「生ライチ」の名称でJAに出荷しています。昨年のJAみやざき取扱分は約17t（うち、JAみやざき児湯地区本部が13t）で、本年も同程度の出荷を見込んでいます。



たわわに実った大きくて赤いライチ

森緑園で栽培しているライチの主な品種はチャカパット（タイ原産の最高級大玉品種）で、さっぱりした風味とみずみずしさが特徴です。通常、6月下旬から出荷量が増え始め、ピークは7月上中旬と期間が短いですが、今年は温度管理等を工夫し、試行的に5月から収穫。厳選したものを「モリノライチ」として宮崎空港や百貨店、ECサイトで販売しています。



大きなものはゴルフボールより大きく、一粒で60gにもなります。

今後は、県全体で品質基準（糖度や大きさ等）を確立し、生産量の安定化を図りながら、宮崎の新たなブランドを目指します。

拠点のうごき

6月20日 イベント参加

高千穂町の川登棚田群（栃又（とちまた）の棚田）では、今年で**16回目を迎えた「アート米田植えイベント」**（中川登集落協定、農事組合法人高千穂かわのぼり主催）が開催され、地域住民や県内外の約100名の参加がありました。

今年のアート米絵柄は、秋に稲穂が沢山実ること、ひいては自然の恵みや神々への感謝の意味を込めて「rice できイイじゃん」です。



アート米絵柄に添って違う苗を植えていく

6月23日 意見交換会

新富古民家利活用地域おこし協議会は、新富町上新田に高千穂町から築約120年の古民家を移築して、**一棟貸しの「ちぎテラス」**として農泊を行っています。宿泊定員は最大8名で、最近では欧州からの利用客も増えています。

今後、体験メニューを拡充整備し、搾乳、アカウミガメの産卵や孵化の見学、茶摘み等の体験と組み合わせることにより、更なる宿泊集客を目指しています。



ちぎテラス全景(協議会提供画像)

7月14日 出前講座

将来を担う若い世代（南九州大学環境園芸学部環境園芸学科1年生72名）に、農林水産省の主要施策である**みどりの食料システム戦略、新規就農者の育成・確保、スマート農業技術の普及促進等について説明**しました。参加の学生から「J-クレジットの仕組み」の質問があり、学部長からは「農業を勉強していく上で、国の施策についても良く理解し学んで欲しい」とのお話がありました。



講義の様子

データで見る宮崎の 農業産出額！

◆ 令和6年市町村別農業産出額では、**都城市が全国2位で921億円**でした。また、主な品目別産出額では、**都城市の豚、肉用牛、日向市のブロイラー、宮崎市のきゅうり**が市町村別全国1位となっています。

◆ 右の宮崎県地図では産出額1位部門を市町村別に色分けしています。県央部では野菜、県北部ではブロイラー、県西部を中心に肉用牛など地域の特色が表れています。

令和6年産出額及び品目別上位市町村(宮崎)

全国上位
100位以内
の市町村
(宮崎県)

2位 都城市 921億円
22位 宮崎市 387億円
33位 小林市 343億円
58位 川南町 275億円
59位 日向市 275億円

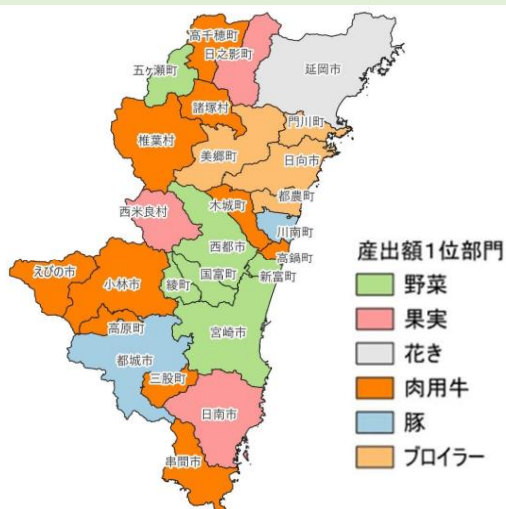
1 主な品目別産出額の市町村別全国1位

都城市	豚	315億円
日向市	ブロイラー	241億円
都城市	肉用牛	212億円
宮崎市	きゅうり	102億円

2 主な品目別産出額の市町村別全国2位

西都市	ピーマン	43億円
-----	------	------

令和6年産出額1位品目(市町村別)



資料：農林水産省「令和6年市町村別農業産出額(推計)」

編集後記

夏場の実家では、黒毛和牛の暑熱対策が欠かせません。高齢の父母の手入れで育った子牛は、人懐っこく、帰省すると小走りで寄ってきて癒されます。出荷のたびに子牛ロスになる私ですが、優しい方に迎えていただけると嬉しいですね。(N)

● 本紙の記載内容や農政についてのご質問、ご意見等お気軽にお問い合わせ下さい。

● 宮崎県拠点 地方参事官室
TEL 0985-24-2365
〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17